

夏の防犯対策してますか？

北海道でも暑い日が続いています。暑くて寝苦しい夜が続くと、つい窓を開けたまま寝てしまったり、日が長いので2階の窓を網戸にしたまま出かけている方も少なくないのではないのでしょうか。夏は知らず知らずのうちに防犯に対する意識が薄くなってしまいがちです。

今回は、夏に気をつけたい防犯について記載していますので、下記を参考にご注意ください。

▶開けたままの窓に注意！

明らかに人が出入りできそうな窓については防犯対策をしっかりとしているけれど、小さな窓は開けっぱなしにしてしまっているということはありませんか？空き巣から見ると開いている窓ほど侵入しやすい箇所はありません。夏に窓を開けたままにすることがあるという場合は、必ず防犯対策を行う必要があります。

• 侵入防止アラームを設置する

侵入者に対して心理的なプレッシャーを与えるだけでなく、侵入者の存在を近所の人や家族に気づかせる効果もあります。

• 網戸に補助鍵を取り付ける

網戸枠の上下2箇所に設置することで、容易に外から網戸を開けることができなくなります。必ずしも安心できるというわけではありませんが、開錠するのに手間が掛かるため、空き巣が侵入を諦めるという効果が期待できます（空き巣は侵入に5分以上の時間がかかると、約7割が侵入をあきらめるそうです）。

• 網戸を防犯機能のあるステンレス網戸に変更する

ステンレス網戸は網の部分に強度なステンレスワイヤーを編み込んでいるため、鋭利な刃物で切り裂かれたりすることがなく、防犯機能を大幅にアップさせることができます。また、窓に格子をつけるのも効果的です。ただし、双方とも価格が高価で気軽に設置できないデメリットがあります。

▶長期不在時に注意！

空き巣は必ず下見に来るといわれています。特に留守の家を狙っていますので、旅行に出かける前にはしっかり対策をしましょう。

• 外から不在なことを分かるようにしない

玄関前や郵便受けに新聞や送付物などが何日も溜まっていると留守を知らせているようなものです。新聞配達の一時停止などをしましょう。また、親族や近所の人をお願いして時々家の周りを見回ってもらうのも効果的です。

• 旅行の旨をSNSに記載しない、留守番電話に吹き込まない

SNSや留守電に「旅行中です」「〇日に帰ります」などの情報を載せることは、空き巣に留守を知らせているようなものでやめましょう。また、窓から見えるカレンダーに旅行期間などの印をつけていると留守を知られてしまう可能性がありますので用心しましょう。



不審者や不審車両を見かけたら警察署・最寄りの駐在または役場総務課までご連絡を！

苫小牧警察署 ☎ 0144 ☎ 0110

追分駐在所 ☎ ☎ 2003

安平駐在所 ☎ ☎ 2339

早来駐在所 ☎ ☎ 2030

遠浅駐在所 ☎ ☎ 2211

役場総務課 ☎ ☎ 2511